

東日本大震災緊急・復興支援活動 収支報告

【収入】2011年3月14日～2016年12月31日

(単位:円)

	金額
日本ユニセフ協会 国内事業費より	¥100,000,000
日本国内で寄せられた募金 ^{※1}	¥3,541,920,938
海外のユニセフ協会を通じて寄せられた募金 ^{※2}	¥1,212,946,130
合計	¥4,854,867,068

※1 海外の個人・企業・団体から直接送金された募金を含みます。

※2 ユニセフ協会(ユニセフ国内委員会)は、世界34の先進国・地域に設置されており、各国内で民間からのユニセフ募金の窓口となっています。2011年3月以降、東日本大震災に対し、16のユニセフ協会(オーストラリア、オーストリア、カナダ、チェコ、フランス、ドイツ、ギリシャ、香港、ハンガリー、アイスランド、イスラエル、韓国、ルクセンブルク、スイス、英国、米国)を通じて募金が寄せられました。

【支出】2011年3月14日～2016年12月31日

(単位:円)

項目/内容	支払額合計
A. 緊急・復興支援活動費	
1. 緊急支援物資の提供	
物資調達支援	180,300,028
技術支援 ^{※3}	7,009,489
小計	¥187,309,517
2. 保健・栄養	
健診再開、物資調達支援	53,724,008
栄養支援プロジェクト	26,942,676
母子保健(母乳育児促進、妊婦支援、ワクチン、施設整備等)	646,163,123
教育施設における給食・補食支援	128,695,355
技術支援 ^{※3}	93,147,340
小計	¥948,672,502
3. 教育	
バック・トゥ・スクール	538,129,795
バック・トゥ・保育園、幼稚園	102,329,213
保育園・幼稚園等の園舎再建、修繕	1,866,000,175
中高総体	67,528,498
技術支援 ^{※3}	41,024,057
小計	¥2,615,011,738
4. 心理社会的ケア	
バス遠足・そとあそび、福島子ども保養プロジェクト	233,816,162
ちっちゃな図書館、Tegami Project、祈りのツリー-project	43,375,420
物資調達支援	5,146,885
資料等作成 ^{※4}	2,956,847
技術支援 ^{※3}	321,242,195
小計	¥606,537,509
5. 子どもの保護	
アドボカシー ^{※5}	5,428,063
資料等作成 ^{※4}	2,021,302
技術支援 ^{※3}	91,925,403
小計	¥99,374,768
6. 子どもにやさしい復興計画	
アドボカシー ^{※5}	9,165,570
子どもに関連する復興(遊び場、公園整備等)	108,551,078
技術支援 ^{※3}	130,920,414
小計	¥248,637,062
7. 活動報告・広報啓発	
報告会運営、報告資料作成 ^{※6}	87,828,478
小計	¥87,828,478
合計	¥4,793,371,574
B. 活動全般に関わる現地運営^{※7}	
現地事務所賃借料・通信費・交通費等	35,409,529
スタッフ・ボランティア現地派遣 ^{※8}	22,080,379
一般会計への振替額 ^{※9}	4,005,586
小計	¥61,495,494
総合計	¥4,854,867,068

※3 「技術支援」は、日本ユニセフ協会が事業の遂行にあたり協力協定を締結したパートナー団体(地方公共団体を含む)を通じた支援活動や専門家への業務委託費を含みます。

※4 資料等作成は被災者向けの資料作成活動です。

※5 「アドボカシー」とは、パートナー団体との連携、調整、情報共有(ホームページ作成、会議、報告会開催等)、また意識啓発や自治体への政策提言等の活動です。

※6 「報告会運営、報告資料作成」には、報告書や印刷物の作成、写真展、ホームページの英文翻訳費、映像・写真記録費用を含みます。

※7 B.「活動全般に関わる現地運営」の支出は、日本ユニセフ協会が活動開始時に事業費から準備した1億円をあてています。なお、6ヶ月収支報告に含まれていた緊急支援活動に直接関わる交通費等については、会計士の指導により、1年レポートより、A.緊急支援活動費に配賦し直しました。

※8 「スタッフ・ボランティア現地派遣」の支出には、潜在費、ボランティア保険等を含みますが、給与は含まれません。スタッフとは、ユニセフおよび日本ユニセフ協会の職員を指します。

※9 東日本大震災緊急復興支援活動の終了に伴い、当初、初動活動及び現地運営管理のため、一般会計から振り替えた1億円の残金4,005,586円を戻し入れたいします。なお、皆さまからの寄付金は全額緊急復興支援活動に使用しました。

注) 本収支報告は、活動の状況をわかりやすくお伝えするためにまとめたものです。報告期間は、2011年3月の支援活動開始日から2016年12月末までの70か月分となっており、日本ユニセフ協会の会計年度と異なります。